

2013年7月参議院選挙・宣伝カー用テープ原稿（案）

2013年6月18日（火）現在

【アベノミクス批判】

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

選挙に行つて、国民生活と憲法破壊の暴走にストップをかけましょう！

アベノミクスで私たちの暮らしは良くなったでしょうか？一部の輸出大企業や大株主はもうかったかもしれませんが、わたしたち庶民の生活は電気・ガス料金、石油製品、輸入食料品の値上げで、いっそう大変になっているのではないのでしょうか。

これまで通りの、大規模開発や規制緩和では暮らしは良くなりません。日本の経済を立て直すためには、賃上げとはたらくものの雇用の安定こそが必要です。

ごいっしょに、国民のふところをあたためる政治を求めていきましょう。

【アベノミクス批判】

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

選挙に行つて、国民生活と憲法破壊の暴走にストップをかけましょう！

アベノミクスは大幅な金融緩和を行い、市場に出回るお金を2倍にして、無理やり物価を2%引き上げるものです。しかし、賃金が増えなければ、生活悪化が避けられません。

安倍首相が、国民の所得を150万円増やすといいますが、これは、企業などのもうけを含んだ「国民総所得」を増やすと言っているだけで、年収が増えるわけではありません。これまでのように、企業がもうけをため込んでしまえば給料は必ずしも上がりません。

今こそ、大企業がため込んだ260兆円以上の内部留保活用し、正社員だけでなく、パート・派遣労働者の賃上げや下請け企業の単価の引き上げで日本経済の再建をすすめていきましょう。

【憲法改悪批判】

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

選挙に行つて 国民生活と憲法破壊の暴走にストップをかけましょう！

みなさん！ 安倍首相は、憲法9条を改悪して、日本をアメリカと一緒に、再び戦争する国にしようとしています。

そのために、憲法96条を改悪して、憲法を改正しやすくしようとしています。日本維新の会やみんなの党も憲法9条と96条の改悪に賛成しています。

みなさん！ 日本を再び戦争する国にしては、絶対にいけません。

「憲法9条改悪反対！」「平和憲法を守れ！」、の声を7月の参議院選挙で示しましょう！

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

選挙に行つて 国民生活と憲法破壊の暴走にストップをかけましょう！

4月に発表された高校生1万人憲法意識調査結果で、「憲法9条についてあなたはどう考えますか」との問いに、63%が「変えない方がよい」と回答がありました。

「9条は戦後の日本の平和のために役立ったと思いますか」では、「はい」が68・2%にのびりました。日本国憲法は、あの悲惨な戦争の反省から、恒久平和・国民主権・基本的人権の尊重を柱にした世界に誇る宝です。多くの国民は改憲など望んでいません。憲法を暮らしと震災復興にこそ生かすこと、9条にもとづいて平和外交をすすめることが求められています。

ご一緒に憲法を守っていきましょう。

【原発問題】

市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

原発ゼロの日本を目指していきましょう

安倍内閣は、福島原発事故の反省もなく、原発の再稼働と新增設、外国に原発を輸出しようとしています。しかし、みなさん！ 福島原発は収束するどころか汚染水があふれるなどいまだに深刻な状況にあります。15万人を超える福島の人々は避難生活をよぎなくされ、故郷（ふるさと）に帰るめどはたっていないません。

みなさん！ 「人類と原発は共存できない！」ことを福島原発事故は示しました。子どもたちの未来と人類の将来のために、原発ゼロの即時実現、再生可能エネルギーへの転換を求めていきましょう。

【労働ビッグバン批判】

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

雇用が守られる政治を求めていきましょう

安倍内閣は、財界・大企業の言いなりになって、働くルール・労働法制を大改悪しようとしています。

いつでも労働者のクビを切れるようにする、解雇の自由化、残業代を払わなくても罰せられない、ホワイトカラーエクゼクティブ、使い捨て労働を今以上に拡大する「名ばかり正社員」の「限定正社員」制度など、日本中の企業がブラック企業ばかりになってしまいます。ますます、格差と貧困が大きくなります

みなさん！ 賃金さがり続けている国は日本だけです。賃上げと雇用の安定が実現できる政治を求めていきましょう。

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

雇用・健康が守られる政治を求めていきましょう

「残業代出たら年収一千万」「辞められない身体を壊すその日まで」。ブラック企業で働く若者たちが詠んだ川柳です。有名企業をはじめ、いまや日本社会に巣くうブラック企業、違法な労働条件で働かせ、命さえ脅かします。特徴は、酷使する。簡単にクビを切る。賃金を搾取する。嫌がらせの多発。極端な精神主義などです。皆さんの職場ではどうでしょうか？

こうしたブラック企業の横行は日本社会を暗闇に変えてしまいます。人を使いつぶし、ゆがんだ価値観をうえつける。若者は将来を描けず、生活の基盤もつぐれない。このままでは、国滅びてブラック企業だけ生き残ることになってしまいます。

こんな企業をなくするのが政治の役割ではないでしょうか。安心して働き続けられる社会をつくっていきましょう。

【社会保障・消費税】

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

誰もが安心して暮らせる社会を求めていきましょう

安倍内閣は、国民生活を守る最後のセーフティネットである生活保護の基準引き下げと制度改悪を強行しました。自助・自立の名の下に、医療・介護、年金、保育などの制度を改悪して、日本の社会保障制度を変質・解体しようとしています。

憲法25条が活かされ、安心してくらせる、安心して子育てができる社会を求めていきましょう。

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

消費税の増税に反対の声をあげていきましょう

自民党と公明党そして民主党の3党の談合・闇取引によって、消費税が2014年4月から8%に、2015年10月から10%に引き上げられています。今消費税が引き上げられたら、国民生活は根底から破壊されてしまいます。中小企業の経営や地域経済にとりかえしのつかない深刻な影響を与えます。消費税を増税しなくても、大企業と大金持ちに応分の負担をしてもらえば、社会保障の充実と財政再建の両立は可能です。

暮らし破壊の消費税増税はストップの声を大きくしていきましょう。

【TPP問題】

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

TPPへの参加にストップをかけましょう

安倍内閣は、昨年の総選挙での公約をかなぐり捨て、TPP交渉への参加を表明しました。安倍内閣の公約破りに全国津々浦々で怒りの声がわきおこっています。TPPに日本が参加すると、日本の農林漁業は壊滅的打撃を受けます。復興に向け頑張っている東北地方にも大打撃です。日本の自然環境や地域経済に深刻な影響を与えるだけでなく、食の安全や医療、公共事業や雇用などありとあらゆる分野に深刻な影響が出ます。

みなさん、「売国」、「亡国」の協定、TPPへの参加をストップさせていきましょう

【沖縄・安保問題】

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

日米安保条約を見直し、平和的外交を求めていきましょう。

安倍内閣は、沖縄県民の総意を踏みにじり、アメリカ言いなりとなって、危険極まりない欠陥機IIオスプレイの配備を強行し、辺野古の新基地建設を強行しようとしています。私たちは、沖縄県民の島ぐるみのたたかいに連帯して、普天間基地の即時無条件撤去、基地のない沖縄をめざしています。

みなさん、時代遅れの軍事同盟・日米安保条約の廃棄をし、憲法9条が輝く外交を求めてきましょう。

【橋下暴言】

○市民の皆さん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

人権が守られる政治を求めていきましょう。

橋下市長の暴言を許してはいけません。

大阪市の橋下市長は、『旧日本軍「慰安婦」制度は必要だった』というとてもない、人権無視の発言をしました。

この発言は、女性だけでなく、男性の人権も踏みじり、元慰安婦の人を二重、三重にも侮辱するものだ、国内だけでなく海外からも、橋下市長に抗議が殺到しています。

ところが、橋下市長は、自らの発言に責任をとって謝罪・撤回することもなく、「みんなから降ろされない限り、自分では降りません」と市長の座に居座り続けています。市長として人権意識に欠け、弱い者いじめの発言をする橋下市長は、市長としても、政治家としても失格です。今すぐ、大阪市長を辞めるべきです。これが多数の大阪市民の声ではないでしょうか？

憲法にある基本的人権が守られる政治を求めていきましょう。

○市民の皆さん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

歴史を逆行させる政治にNOの声を突き付けましょう

橋下市長は政治家として責任を取るべきです。

世界では、戦争犯罪、特に女性に対する性暴力をなくそうというのが大きな流れです。戦争そのものが、人権を否定する行為であり、女性に対する性暴力は戦時といえども、犯罪として裁かれるべきだというのが国際的な考え方です。国連人権委員会は、旧日本軍「慰安婦」問題で謝罪と補償をするよう日本政府に勧告を出しています。歴史を逆行する橋下市長の発言は許せません。

維新の会の共同代表の石原氏が「軍隊に売春はつきもの」と居直る発言をし、松井一郎大阪府知事も「慰安婦制度が必要とされていた」と橋下市長を擁護しました。慰安婦制度を認めるとんでもない発言に、立場が明らかになりました。

橋下市長は、自らの発言に対し、政治家としての責任をとるべきです。今すぐ、市長を辞任するべきです。ご一緒に声を上げていきましょう。

1人ひとりひとりの人権が認められる政治を求めていきましょう。

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

憲法9条を守っていきましょう。

橋下市長の発言に怒りが沸き起こっています。

日本政府は、1993年、河野談話を発表し、従軍慰安婦問題での、旧日本軍の関与を認めて謝罪し、反省を表明しました。慰安所は、中国、朝鮮から東南アジアまで広く作られ、旧日本軍がその管理や慰安婦の移送に関与していたことが国内外の証言により確認されています。

安倍首相は、この河野談話や、「植民地支配と侵略」をおこなった事を認める「村山談話」を継承せず、見直す発言を繰り返している事も、今回の橋下発言の発端となっています。安倍首相をはじめ、侵略戦争を行った歴史に背を向ける政治家は、歴史の事実と向き合うべきです。

ご一緒に、二度と戦争を起こさないという決意が込められた憲法を守っていきましょう。

○市民のみなさん、私たちは大阪労連です。

みなさん！ 7月に参議院選挙がおこなわれます。

住民の安心・安全が守られる政治をつくっていきましょう。

松井知事が八尾空港に欠陥機と言われているオスプレイの受け入れると発言しました。「アメリカに対して、橋下市長の暴言のお詫びに府民の安全を差し出すのか」と市民不在の押し付けに怒りが沸き起こっています。知事の仕事は府民の安全・安心を守ることです。松井知事にオスプレイ受け入れ撤回を求めていきましょう。

大阪に、日本にオスプレイはいらないの声を大きくしていきましょう。